

### ❏ 大村智先生ノーベル賞受賞記念展示の期間延長

本学卒業生 大村智先生のノーベル賞受賞記念展示の期間を延長いたします。

平成27年10月の大村先生来館時より始まった当展示には、2月末までに1,200名を超える多くの方々にご来場いただきました。特別展示は3月末日で終了の予定でしたが、お越しいただいた皆様から展示の継続を望む声が多く、その要望にお応えして4月以降も続けることになりました。（ただし、展示場所や内容などは変更する予定です。）

これからも多くの皆様のご来場をお待ちしております。

### ❏ 附属図書館特別企画「教員リレー講演会」を開催

10月14日（水）、第1回教員リレー講演会—この本あなたに<sup>けみ</sup>関してほしい—が開催されました。この講演会は本学教員が次の演者を指名してリレーしていくもので、第1回目は附属図書館長でもある生命環境学域教授 竹内智先生がお話しされました。



「環境を平和学する！」と題し、環境破壊や様々な観点からの平和や共生システムなどについて述べられ、一般、学生、教職員など多くの方が真剣な表情で聴いていました。

12月4日（金）、第2回教員リレー講演会が開催されました。1回目の竹内先生よりバトンを渡されたのは大学院教育実践創成講座教授 寺崎弘昭先生でした。

「恍惚の読書への誘い— 一万円札の愉楽」と題してディスカッション形式で行われ、先生の現在の読書スタイルに至る流れや、本の読み方などをお話しされました。中でも福沢諭吉の『文明教育論』を解説しながら読み進めた際には、先生が読んだ当時の覚書に、参加者は感心したり頬を緩めたりと楽しいひと時を過ごしました。

### ❏ 高校生の特別展示見学および講演会 を開催



本館では、12月19日（土）、茨城県立水海道第一高校の1年生約40名が、大村博士のノーベル賞受賞記念特別展示を見学しました。その後引き続き、早川正幸 副学長が「暮らしを支える有用微生物」という題目で講演を行いました。

高校生は、大村博士の研究の道筋や、その研究成果が何に活かされているかを聞いて、実際に微生物の培養培地を手にとって観察しながら、今回の受賞に関する内容についての理解を深めていました。

### ■ 講演会「人をお世話するという生き方」を開催



11月13日(金)、医学部キャンパスにおいて、淀川キリスト教病院緩和医療内科主任部長の池永昌之先生をお招きし、「人をお世話するという生き方」と題した講演会を開催しました。

この講演会は、附属図書館医学分館内に常設されている「生と死のコーナー」の関連行事(平成27年度附属図書館医学分館地域貢献事業)として実施されたもので、当日は医学生、教職員、地域の医療関係者、一般の方など約180名が聴講しました。

講演では、池永先生が緩和医療の現場に長く携わってきた経験から、末期患者さんの苦悩の構造を解き明かし、「相手がわかってもらえたと思えるような言葉かけとは」「話しを聞いてもらうこととは」「患者さんの苦悩に寄り添うとは」といった内容で講演を進められ、人のお世話になること、お世話をするることについて、いずれも参加者にわかりやすい言葉で語りかけました。最後にマザーテレサの言葉「人をケアするという職業を仕事として選らんだのではなく、生き方として選らんだのだと思いなさい」を紹介され講演を結びました。

参加者からは、多くのメッセージが寄せられ、「人の死について考えることの大切さを知った。(本学学生)」「“緩和ケア”の場からのメッセージ、実は自分の行き方を問うことにもつながる。(本学教職員)」「わかりやすい言葉の講演であったが、深い意味のある内容であった。(学外)」などの感想がありました。

### ■ 学外から電子ジャーナル・電子ブックが利用可能 - 「学認」について



山梨大学が「学認<sup>※</sup>」に参加し、総合情報戦略機構によって接続環境が整備されました。これによりYINS-SSOのログインIDとパスワードを用い、シボレス認証を利用可としている電子ジャーナル、電子ブック、データベース等を学外からも利用できるようになりました。

(2016.3.1現在利用可能なサイト)

#### ・電子ブック

Maruzen eBook Library(丸善)

#### ・電子ジャーナル

Science Direct (Elsevier), SpringerLink (Springer), Wiley Online Library (Wiley), Nature

#### ・データベース

CiNii(NII), ProQuest, Web of Science, OVID [MEDLINE, EBMR, ERIC], CINAHL (EBSCO host)

※学術認証フェデレーション(学認/GakuNin)とは、大学と学術e-リソースを提供する機関・出版社等から構成された連合体です。各機関はフェデレーションが定めた規程(ポリシー)を信頼しあうことで、相互に認証連携を実現することが可能となります。

館報「やまなし」の由来：図書館報「やまなし」は山梨県、山梨大学の「山梨」と樹木の「ヤマナシ」にかけています。図書館の西側に大きなヤマナシの木があり、今でもたくさん実をつけます。みんなが育てて喜ばれる図書館になるようにという願いがこめられています。

❏ 子どもの読書活動推進スキルアップ講座を開催



子ども図書室では、山梨県立図書館とともに、子どもの読書活動推進スキルアップ講座を開催しました。10月29日(木)には第3回「読書マラソンの取り組み—大学生に向けた読書推進活動—」と題した小西真穂氏の講演会を、また12月3日(木)には第4回「創作のタネあかし—新美南吉童話賞など、受賞作品はいかにして生まれたか—」を童話作家である、しいなさいち氏にお話しいただき、そして2月18日(木)には第5回「カムカムクラブの実践とアニメーションワークショップ—公共図書館でのアニメーション—」を青柳啓子氏のご指導のもと開催しました。各講座とも県内の子どもの読書に携わる方々が熱心に聴講し、有意義な時間となりました。



今後のイベント紹介

平成28年度山梨県・山梨大学連携事業

「子どもの読書活動推進スキルアップ講座」全5回のご案内



子ども図書室では、平成28年度も山梨県と山梨大学の連携事業の一環として、山梨県立図書館と山梨大学の共同企画により、「子どもの読書活動スキルアップ講座」を実施します。各年度ごとにテーマに沿った内容の講座を全5回開催します。今後の詳しい日程や内容は、随時子ども図書室HPにも掲載いたしますので、ご参照ください。

山梨大学附属図書館 子ども図書室  
<http://www.lib.yamanashi.ac.jp/pyonpyon/>

【お申し込み・お問い合わせ】

山梨県立図書館サービス課 子ども読書推進担当  
 〒400-0024 甲府市北口二丁目8-1 TEL 055-255-1040 (代) FAX 055-255-1042  
 主催：山梨県立図書館・山梨大学附属図書館子ども図書室

◆イベント詳細については、ポスター・パンフレット・山梨大学附属図書館ホームページ等でお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしています。

学外の方への利用案内

本館及び医学分館は、山梨大学以外の大学生をはじめ一般の方々も利用できます。詳細については、<http://lib.yamanashi.ac.jp/>をご覧ください。本館 Tel:055-220-8066 (情報サービスグループ)、医学分館 Tel:055-273-9357 (医学情報グループ)にお問い合わせください。



● 表紙撮影：図書・情報課 職員  
 場 所：医学部キャンパス

山梨大学附属図書館報  
 「やまなし」  
 第13巻第2号  
 2016年3月18日 発行  
 編集：館報編集委員会  
 発行：山梨大学附属図書館  
 〒400-8510  
 甲府市武田四丁目4-37  
 TEL 055-220-8063